



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社  
コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 関 伊知郎

TEL 06-6459-0701

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	218,372	1.8	15,649	24.5	15,740	52.2	11,468	79.5
28年3月期第3四半期	214,413	6.4	12,565	16.2	10,340	△3.3	6,387	△14.1

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 4,837百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △278百万円 (△102.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	133.41	—
28年3月期第3四半期	74.31	—

(注)平成28年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成28年3月期第3四半期連結財務諸表について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	266,746	146,146	53.3	1,654.83
28年3月期	266,877	148,787	53.3	1,655.70

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 142,247百万円 28年3月期 142,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
29年3月期	—	22.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	292,000	1.6	19,600	16.4	18,200	28.9	12,000	30.1	139.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) FUJI OLEOS AMERICA DO SUL IMPORTACAO, SERVICOS E COMERCIO DE PRODUTOS ALIMENTICIOS E PARTICIPACOES LTDA., NEW LEYTE EDIBLE OIL MANUFACTURING CORPORATION

、除外 2社 (社名)

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結会計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	87,569,383 株	28年3月期	87,569,383 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,610,491 株	28年3月期	1,610,095 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	85,959,052 株	28年3月期3Q	85,959,651 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度末において、HARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S. A. (以下ハラルド社)の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映しております。

詳細は「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご参照下さい。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢は堅調に推移し個人消費も回復しつつあり、景気は緩やかな回復基調となっております。米国経済は次期政権に対する期待が強い中、緩やかに拡大しております。ユーロ圏は英国の欧州連合(EU)離脱決定の影響や、金融不安による欧州景気の下振れリスクはあるものの、個人消費の回復や輸出が復調しつつあり景気回復が続いております。中国や新興国を中心とした経済成長の鈍化などにより世界的な景気は先行き不透明な状況が続いております。

この様な状況の中、当社グループはローリング中期経営計画「ルネサンス不二2018」(2016年4月～2019年3月)での基本方針である「サステナブル経営」「グローバル経営」「技術経営」に則り、成長戦略、収益構造改革、サプライチェーンの構築により事業体質の強化を図り、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は2,183億72百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は156億49百万円(前年同期比24.5%増)、経常利益は157億40百万円(前年同期比52.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は114億68百万円(前年同期比79.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (油脂部門)

国内市場向けフライ油・製菓用油脂などのパーム油・チョコレート用油脂の販売数量が増加しました。また、海外において、主に米州でパーム油の販売が伸長しましたが、円高により海外グループ会社の円換算額の目減りがあり、減収となりました。利益面では、販売数量の増加や採算性の向上により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は811億70百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益(営業利益)は55億48百万円(前年同期比19.0%増)となりました。

#### (製菓・製パン素材部門)

国内市場向け業務用チョコレート・冷菓用チョコレートの販売が伸長したことや、中国市場でのフィリング製品の販売が順調に推移していること、また、前年度に連結子会社化したチョコレート製造販売会社であるブラジルのハラルド社の売上高純増(前年度においてハラルド社の売上高は第3四半期連結会計期間期首より連結取り込み)や前年度に同社の株式取得費用を計上していたこともあり、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,082億34百万円(前年同期比6.1%増)、セグメント利益(営業利益)は79億75百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

#### (大豆たん白部門)

大豆たん白素材において、食肉や加工食品市場向けの販売が減少し厳しい面はありましたが、健康食品市場向けの販売は堅調であったことや採算面の改善に取り組み増益となりました。また、大豆たん白食品の即席あげや、大豆たん白機能剤の飲料用途向けの販売が伸長しました。但し、当部門全体の売上高につきましては、連結子会社トーラク(株)における小売向け豆乳販売事業の営業譲渡による売上高の減少要因により、当部門全体は減収となっております。利益面では、事業再構築やコスト削減による採算改善により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は289億68百万円(前年同期比6.1%減)、セグメント利益(営業利益)は21億24百万円(前年同期比95.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、2,667億46百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少27億33百万円、受取手形及び売掛金の増加80億75百万円、原材料及び貯蔵品の減少37億51百万円、のれんの減少21億22百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ80億65百万円増加し、680億65百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加88億21百万円、資本剰余金の減少26億24百万円、為替換算調整勘定の減少83億90百万円、非支配株主持分の減少25億65百万円等であります。

この結果、自己資本比率は53.3%、1株当たり純資産は1,654円83銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ27億9百万円減少、前第3四半期連結累計期間末に比べ97億58百万円減少し、139億89百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で43億30百万円増加し、107億21百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益164億71百万円、減価償却費76億84百万円、仕入債務の増加額33億28百万円等による収入が、売上債権の増加額109億72百万円、法人税等の支払額58億19百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で201億66百万円支出が減少し、96億78百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出105億51百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で384億22百万円減少し、13億64百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純増加額90億33百万円、長期借入による収入24億23百万円等の収入を、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出54億52百万円、長期借入金の返済による支出34億73百万円、配当金の支払額34億38百万円等による支出が上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月8日発表の通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、FUJI ÓLEOS AMÉRICA DO SUL IMPORTAÇÃO, SERVIÇOS E COMÉRCIO DE PRODUTOS ALIMENTÍCIOS E PARTICIPAÇÕES LTDA. は、当社の連結子会社である HARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S.A. に吸収合併されたため、また、NEW LEYTE EDIBLE OIL MANUFACTURING CORPORATIONは、清算手続きの進展により資産負債の整理が終わり重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以降に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は8百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。

### (4) 追加情報

#### 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,771	14,038
受取手形及び売掛金	56,149	64,224
商品及び製品	22,766	22,443
原材料及び貯蔵品	27,196	23,445
繰延税金資産	2,334	803
その他	5,818	7,054
貸倒引当金	△166	△206
流動資産合計	130,869	131,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,366	33,749
機械装置及び運搬具(純額)	35,106	32,962
土地	16,129	16,062
建設仮勘定	5,031	3,804
その他(純額)	1,857	2,357
有形固定資産合計	89,491	88,935
無形固定資産		
のれん	13,133	11,011
その他	9,395	9,288
無形固定資産合計	22,528	20,300
投資その他の資産		
投資有価証券	16,324	16,186
退職給付に係る資産	656	1,054
繰延税金資産	373	604
その他	7,479	8,042
貸倒引当金	△847	△181
投資その他の資産合計	23,987	25,706
固定資産合計	136,007	134,942
資産合計	266,877	266,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,017	26,641
短期借入金	21,361	30,786
未払法人税等	3,795	1,498
賞与引当金	2,194	1,467
役員賞与引当金	50	-
その他	14,063	12,619
流動負債合計	66,482	73,013
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,639	27,278
繰延税金負債	7,089	4,452
役員退職慰労引当金	35	-
退職給付に係る負債	1,820	1,743
その他	4,022	4,111
固定負債合計	51,607	47,585
負債合計	118,089	120,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,302	15,678
利益剰余金	109,761	118,582
自己株式	△1,748	△1,748
株主資本合計	139,524	145,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,390	5,611
繰延ヘッジ損益	△980	760
為替換算調整勘定	△422	△8,812
退職給付に係る調整累計額	△1,189	△1,033
その他の包括利益累計額合計	2,798	△3,474
非支配株主持分	6,464	3,899
純資産合計	148,787	146,146
負債純資産合計	266,877	266,746



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	214,413	218,372
売上原価	172,262	172,182
売上総利益	42,151	46,189
販売費及び一般管理費	29,585	30,540
営業利益	12,565	15,649
営業外収益		
受取利息	109	484
受取配当金	228	193
持分法による投資利益	-	119
その他	316	633
営業外収益合計	654	1,431
営業外費用		
支払利息	547	562
為替差損	1,423	252
持分法による投資損失	374	-
その他	534	524
営業外費用合計	2,880	1,339
経常利益	10,340	15,740
特別利益		
土地売却益	203	-
事業譲渡益	170	-
投資有価証券売却益	-	1,030
特別利益合計	373	1,030
特別損失		
固定資産処分損	214	148
持株会社化関連費用	112	-
事務所移転費用	26	-
減損損失	-	41
関係会社清算損失	-	109
特別損失合計	353	299
税金等調整前四半期純利益	10,360	16,471
法人税、住民税及び事業税	3,265	3,621
法人税等調整額	325	928
法人税等合計	3,590	4,549
四半期純利益	6,769	11,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	382	453
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,387	11,468

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	6,769	11,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	220
繰延ヘッジ損益	△633	1,740
為替換算調整勘定	△6,737	△9,168
退職給付に係る調整額	191	156
持分法適用会社に対する持分相当額	△131	△32
その他の包括利益合計	△7,047	△7,083
四半期包括利益	△278	4,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159	5,280
非支配株主に係る四半期包括利益	△119	△443

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,360	16,471
減価償却費	7,196	7,684
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△589	△397
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	467	240
受取利息及び受取配当金	△337	△678
支払利息	547	562
減損損失	-	41
関係会社清算損益 (△は益)	-	109
事業譲渡損益 (△は益)	△170	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△1,030
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,398	△10,972
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,376	789
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,104	3,328
その他	△116	305
小計	8,688	16,454
利息及び配当金の受取額	331	666
利息の支払額	△518	△580
法人税等の支払額	△2,109	△5,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,391	10,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,970	△10,551
有形固定資産の売却による収入	651	-
投資有価証券の取得による支出	△1,279	△56
投資有価証券の売却による収入	-	1,441
関係会社の清算による収入	-	424
関連会社株式取得による支出	△35	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△17,355	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	396
事業譲渡による収入	170	-
預け金の預入による支出	△3,805	-
その他	△220	△1,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,844	△9,678

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,442	9,033
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△2,000	-
長期借入れによる収入	22,814	2,423
長期借入金の返済による支出	△1,794	△3,473
社債の発行による収入	10,000	-
社債の償還による支出	△5,000	-
配当金の支払額	△2,922	△3,438
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△108	△5,452
非支配株主への配当金の支払額	△177	△312
その他	△195	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,058	△1,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,598	△1,874
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,007	△2,195
現金及び現金同等物の期首残高	12,716	16,698
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△513
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,747	13,989

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、連結子会社である不二製油(張家港)有限公司の出資持分を追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が2,080百万円減少しました。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,583	101,972	30,857	214,413	—	214,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,093	447	488	12,029	△12,029	—
計	92,676	102,419	31,346	226,442	△12,029	214,413
セグメント利益	4,662	6,818	1,084	12,565	—	12,565

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. ブラジルの連結子会社ハラルド社の企業結合について、前第3四半期連結累計期間においては取得原価の配分が完了していなかったため暫定的な会計処理を行いましたが、前連結会計年度末に確定したことに伴い、前第3四半期連結累計期間について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。この結果、前第3四半期連結累計期間の「製菓・製パン素材」のセグメント利益が66百万円減少しております。

## (参考資料)

## 所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	136,263	39,095	23,954	15,100	214,413	—	214,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	20,951	395	109	21,868	△21,868	—
計	136,675	60,046	24,350	15,209	236,282	△21,868	214,413
セグメント利益	9,117	2,986	△143	915	12,875	△309	12,565

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ  
米州：米国、ブラジル  
欧州：ベルギー

3. ブラジルの連結子会社ハラルド社の企業結合について、前第3四半期連結累計期間においては取得原価の配分が完了していなかったため暫定的な会計処理を行いましたが、前連結会計年度末に確定したことに伴い、前第3四半期連結累計期間について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。この結果、前第3四半期連結累計期間の「米州」のセグメント利益が66百万円減少しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,170	108,234	28,968	218,372	—	218,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,939	528	587	13,055	△13,055	—
計	93,109	108,762	29,555	231,427	△13,055	218,372
セグメント利益	5,548	7,975	2,124	15,649	—	15,649

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	134,762	35,878	32,289	15,441	218,372	—	218,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	505	16,667	303	35	17,510	△17,510	—
計	135,267	52,545	32,593	15,477	235,883	△17,510	218,372
セグメント利益	9,921	3,545	1,386	860	15,713	△64	15,649

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ  
米州：米国、ブラジル  
欧州：ベルギー

(企業結合等関係)

取得による企業結合

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

平成27年6月19日に行われた当社によるHARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S.A.の連結子会社化について、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されており、主として無形固定資産である顧客関連資産に61億42百万円、商標権に35億94百万円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は226億86百万円から64億43百万円減少し、162億43百万円となりました。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、主としてのれん償却額が減少し、無形固定資産の減価償却費が増加した結果、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ66百万円減少し、四半期純利益が15百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益が1百万円増加しております。